

第3回理事会 報告書

日時：2015年9月12日(土) 12:00~18:00

場所：東山いきいき市民活動センター

出席者：長谷川(青森)・井上(北海道)・渡辺(埼玉)・山城(京都)・上原(香川)
松田(東京)・平賀(岩手)・大聖(富山)・中辻(宮城)・多和田(岐阜)
伊藤(三重)・内田(大阪)・大塚(兵庫)・長谷川(島根)・稲森(鹿児島)

以上15名

オブザーバー：佐藤様 [(株)鋼構造出版]・隈元様 [(株)産業新聞社]・宇尾野様 (㈱鉄鋼新聞社) 以上3名

以上3名

○開会

○出席者の確認

○会長挨拶

皆様、こんにちは。業界として忙しい最中ご参集いただきありがとうございます。今回は京都に於いて移動理事会が開催されます。山城理事、設営ありがとうございます。本日懇親会は京都府の青年部会会員の方々も参加されます。是非、この機会に懇親を深めてください。

関東では洪水、地震とつづき、この2年間を見てもこのようなニュースが増えてきております。

私たちの鉄骨は地震などに強いという強みがあります。鉄骨の有効性を広く社会に伝えていける活動も組合の中で必要なのではないかと改めて思いました。

東北の地に住んでおりますと、サプライチェーンの崩壊と言いましようか、このような事は事業に支障を来ますし、先行きの不安に繋がります。

私たちの組合においては、局地的な災害等が発生した場合に、各会員がフォローし合うネットワークがまだまだ構築されていないと思います。この辺りも、今期は半年の時間が残っていますので、来期、来々期に向けて念頭に入れて、いざの時に役立つ取り組みも必要であると思います。

現状、私たちの業界は全国的に山が高いとはいいつつも、実際には価格面等においては踏ん張りきれていない状況もありますが、それほど騒ぐ問題ではないと、捉えていただき右往左往せずに情報共有していただきたいと思いままた、本日は高知大会の実行委員長と副委員長もご参加されます。最後まで長丁場ではありますが、忌憚の活発なご意見をお願いいたします。

○各地助成金事業申請及び審議事項

- ・北海道ブロック助成金事業申請が井上副会長よりなされ、承認された。
- ・関東ブロック助成金事業申請が渡辺副会長よりなされ、承認された。
- ・技術ワーキンググループ渡辺副会長より経費の申請がなされ、承認された。
- ・東北ブロック助成金事業申請が中辻理事よりなされ、承認された。

○全国大会(高知大会)会長会議討議事項(意見・案)

- ・ざっくばらんなパネルディスカッションとして覆面座談会はいかがか。(山城副会長)
- ・鋼構造ジャーナル記事の企画として上記を取り上げてはいかがか。(松田会計理事)
- ・外部パネラーの予算についてよく考える必要がある。経費のかからない外部パネラー(上原副会長)
- ・学校のS造化に対するパネルディスカッションが過去にあり、評判が良かった。(渡辺副会長)

※次回11月理事会迄に各理事は会長会議の案を提示し討議する。案についてはgoogleへフォルダを作成し保管する。

○各地活動報告

各ブロック理事より活動報告を行った。

北海道ブロック(井上副会長)

東北ブロック(中辻理事)

関東ブロック(渡辺副会長)

北陸ブロック（大聖監事）
中部ブロック（伊藤理事）
近畿ブロック（内田理事）
中国ブロック（長谷川理事）
四国ブロック（上原副会長）
九州ブロック（稲森理事）

各地活動報告詳細はHPに掲載

○会長総括

宮城県震災復興案件において、公共工事4件の内1件をS造化する計画となった。
型枠大工、鉄筋工が不足しているために納期が遅れる事を改善しようとしたものである。しかし、設計に入
困難な部材が選定されていたため、その部材の納期に時間が多くかかり、結局のところRC造と納期が変わ
なったため4件中3件はRC造となった。

このため、S造化を推進していく過程においては設計士・ゼネコン・FAB・メーカーが協議していく必要がある。

○各WGの討議及び報告

各WGにおいて討議を行い、以下の報告を行った。

技術WG

・鉄骨110番において議題が9件上がっており、後日園部先生と打合せを行う。

渡辺副会長

・現在、鉄骨110番講習会が1件、EGアークタブ講習会が2件、依頼されている。
・今後、全国会員へ講習会を周知徹底していき開催を増やしていきたい。
(技術WGフォルダに講習会案内が保管されている。)

調査・研究WG

・海外鉄骨及びゼネコンの海外進出に関しまして、現状を次回理事会までにはレポートにまとめていきたい
・商社鉄骨に関連する20項目のアンケートを全国の会員へ配信していただき中辻理事にまとめていただく。
・アンケートをもとに円グラフを作成して盛り込みたい。
・次回全国大会会長会議にてレポートの公開とアンケート結果をグラフも提示して行うので、理事会におい
・時間配分を取り決めたい。
・アンケートについて鋼構造ジャーナルの特集記事にしていきたいと長谷川会長へ打診している。
・会長会議時間配分については、30分間を目安に内容をまとめていく。

山城副会長

経営WG

youtube投稿財務分析について、まだまだ再生回数が少なく思われるので、各理事へ全国会員に周知される
広告していただきたい。案内は経営WGダウンロードフォルダに保管されている。(youtube活用の案内)
工場の時間チャージの算出することは大切なことであるが、第二弾として算出方法の説明を動画配信するた
準備していきたい。また変動損益計算書について理解されていない方もみえるのでこちらも動画配信してい
10/31富山県での講習会をビデオ撮りし動画配信していくため、交通費の相談をさせていただきたい。
質問)財務自社分析についてジャッジするラインをどこにもっていくか?(業界平均等)
⇒現実には25点以上がラインとしたい。(全体平均、業界平均等、ラインを提示していきたい)

上原副会長

総務・広報WG

・アライアンスの発展を進めていきたいと考えている。(13期への引き継ぎ書類含め)
・鉄骨110番のカテゴリ分けもしていく。(HP運営会社のもと)
・溶接欠陥サンプルは次期理事へ引き継ぎ取扱方法を書類にまとめて引き渡していく。
意見)高価なものであるため、紛失リスクは保管個人へ及ばない旨を明記していく。
最後の理事会へ引き継ぎ書を提出する。
・23名の会員が増加して920名の会員数となり、すべて会費は納入されている。

井上副会長

内田理事

・ジャーナル掲載用資料を作成した。鋼構造ジャーナル田中常務へ提出する。
・議題2について生々しい内容なので、話し合った題目だけの公開に留めていただきたい。
・他議題は代表的な意見を抽出して列記した。
・会長会議資料配布案内をご確認いただきたい。

総務案内

・各ブロック長、各県会長へ配布していただきたい資料は専用フォルダーへ保管し、その旨を一報する。

上原副会長 ※来期の会長人事について、上原副会長より現状説明があり、理事会において各理事の意見が出された。
現状)全構協より長谷川会長の次期留任要請があったが、全青会としてはこれまでにないことであるため、
理事会において各理事の意見が必要となった。

宮脇実行委員長 ●次期全国大会(高知大会)現状進行報告

渡辺副実行委員長 ・開催日:平成28年4月16日(土)

・開催会場:ザクラウンパレス新阪急高知

・大会テーマ:遍路~明日を見据えた心の改革~

・大会登録料:15,000円/人

・大会スケジュールについて説明がなされた。←理事会を10時から早める。

・大会準備日程について説明がなされた。

・大会テーマについて説明がなされた。

・大会事業内容について説明がなされた。

・収支予算について説明がなされた。

・予算の概算内訳の説明がなされた。

・実行委員会組織の説明がなされた。

※参加会員人数が推測しづらくあるので、予備登録前に把握していきたい。(福井大会参加人数=220名
「事前参加予定数申請書」は予備登録と勘違いされる可能性があるため、簡便に聞き取り取りまとめ吸い上
各担当ブロックを理事が取りまとめる。(文章は実行委員から再度いただく)期限・・・10月15日(木

○閉会

次回理事会の開催

日時:平成27年11月5日(木)時間未定

場所:未定